

「公共事業コスト構造改革プログラム」（総合コスト縮減）

【施策名：(2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【4】 資源循環の促進】

資源循環型緑地 - 循環林 - の整備

事業名：富山地区地球温暖化対策緑地建設事業

概要：他に有効な土地利用が見込めないゴミ処分場の跡地に緑豊かな循環林（約3ha）を整備し、供用後はCO₂を吸収しながら成長した樹木を間伐・更新し、育成管理のための用材として再利用することで地球温暖化の原因の一つであるCO₂の継続的な固定を図るもの。

効果： 負の遺産であるゴミ処分場等の低未利用地の有効活用
循環林から発生する用材の利活用による資源循環の推進
循環林の継続的なCO₂の吸収・固定により地球温暖化の防止
樹林（成木）年間CO₂固定量 82 t・CO₂/年

● 循環林のしくみ



● 低未利用地の有効活用



富山地区地球温暖化対策緑地事業
(計画・設計から管理までの各段階における最適化 - 資源循環の促進)

環境再生保全機構